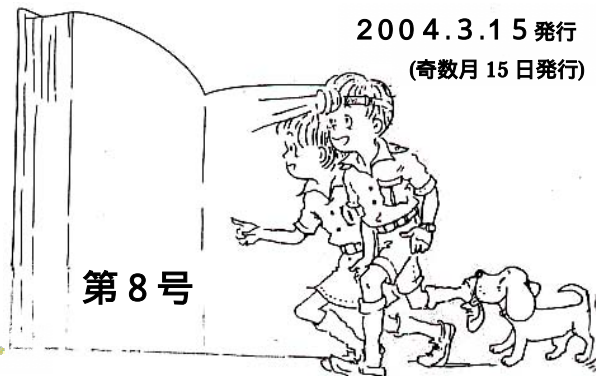


にのみやまちとしょかん 図書館だより

第8号



3月に入り、日に日に春めいてきました。桜の開花が待ち遠しい季節です。果樹公園のナシ畑の花も、あとひと月もすれば真っ白に咲きそろうことでしょう。その時期の図書館2階テラスからの眺めは最高です。是非お見逃しなく！

特集 二宮の「かながわの50選・100選」

神奈川県では、昭和51年から郷土への理解と親しみをより深めてもらおうという趣旨で、「かながわの50選・100選」シリーズを選定しています。ここ二宮でも、花の名所100選などに選ばれている場所が、実は何カ所もあります。今回の特集では、町内の「かながわの50選・100選」をまとめてみました。

あづまやまこうえん 吾妻山公園

かながわの美林50選
かながわの公園50選
かながわの探鳥地50選
かながわの花の名所100選
(コスモス)
かながわ未来遺産100

メモ

名所として選ばれているコスモスをはじめ、菜の花・桜・ツツジ・アジサイなど四季折々の花が楽しめる。



にのみや 二宮せせらぎ公園 こうえん

かながわの花の名所100選
(ハナショウブ)

メモ

水路のせせらぎ、池の止水と散策路を自然の中に組み合わせた水の公園。

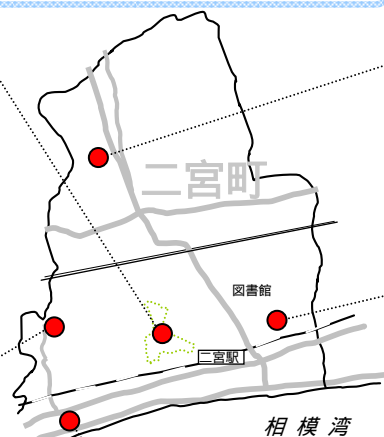


かわわじんじゃ 川勾神社

かながわの建築物100選

メモ

鎮守の森の社寺建築として100選に選定。相模の二の宮といわれ、一の宮・寒川神社に次ぐ旧社。



とうかいどう おしきりざかふきん 東海道の押切坂付近

かながわの古道50選
(近世の道)

メモ

江戸から十八里目の一里塚跡。
川勾神社入口の国道1号線沿い。



とくとみそほうきねんかん 徳富蘇峰記念館

かながわのまちなみ100選
(記念館前の通り)

かながわの花の名所100選

メモ (ウメ)

開館日：月・水・金曜日
(2月は土日祝も開館)
開館時間：10時～16時



普段は何気なく通っている場所も、お散歩がてらゆっくり出掛けてみると、いつもと違った視点で見ることができるかもしれません。また、場所の他に二宮にゆかりのある「かながわの名産100選」として、前号で特集した園芸試験場生まれの「湘南レッド(たまねぎ)」や「湘南のキュウリ」、「湘南のバラ」も選ばれています。

参考資料

『かながわの探鳥地50選』(神奈川県環境部自然保護課 / K10C1)
『かながわの公園50選』(神奈川県都市部都市公園課 / 1994 / K10C1)
『かながわの美林50選』(神奈川県農政部林務課 / 1991 / K10L2)
『かながわ未来遺産100ガイドブック』(神奈川県新聞社 / 2001 / K10C1)

『かながわの建築物100選』(神奈川県都市部建築指導課 / 1991 / K10S6)
『かながわのまちなみ100選』(神奈川県都市部都市整備課 / 1985 / K10C1)
『かながわの名産100選』(かもめ文庫29) (神奈川県合同出版 / 1988 / K10L0)
『日本の100選データブック』(大蔵省印刷局 / 1998 / 291.02)
『湘南にのみや観光MAP』(二宮町役場経済環境部経済課 / 2001)

展示テーブルから

今月のテーマは、「創る人たち」です。大磯・二宮に関わりのある、芸術・文学・工芸などさまざまな分野で“創る”ことに携わる方たちの著作を中心に集めてみました。

その中からここで一冊ご紹介するのは、『風の化石 - 高瀬省三作品集』（高瀬省三著 / 筑摩書房 / 713.0㌦）です。

画像なし

作品集は大磯の浜に打ち上げられた流木に手を加えたもの。「流木はそれ自体、実にすぐれた造形物だが、少しずつ手を加えていくと、それまでとは全く異なる表情を見せてくれる。岩に絵を描いた古代人の驚きと喜びに共感できる一瞬だ」と作者は語ります。作品は生命を吹き込まれ、私たちに近くて遠い、風・海・光と親しい種族を思わせます。

新着本紹介

『12の贈り物 - 世界でたったひとりの大切なあなたへ - 』（シャーリーン・コスタンゾ作、黒井健訳・絵 / ポプラ社 / 159㌦）

画像なし

「あなたが生まれたときに、12の贈り物がさずけられました。あなたのかげがえのない命のために。あなたの素晴らしい人生のために。」

この本は、誕生の瞬間に誰もが平等にさずかっている12の贈り物を、1つ1つ

温まる文章と、黒井健さんの優しい挿絵で紹介しています。迷ったり、落ち込んだとき、この本を手にとってページを開いてみて下さい。励まされ、勇気づけられる1冊です。

録音 CD

『昭和歌謡ベスト3.0』

（藤圭子〔ほか〕演奏 / 東芝EMI / 290㌦）

画像なし

今、ちょっとしたブームである昭和歌謡。昭和歌謡と呼ばれる作品やカバー曲、昭和歌謡的といわれる作品のリリースが増えています。

歌は世につれ、世は歌につれ。お馴染みのセリフとともにお届けしたい、昭和の名曲たちの中から選ばれた珠玉のオムニバスです。

映像ビデオ

『はらぺこあおむし - エリック・カールコレクション 2カ国語版 - 』（アンドリュウ・ガフ監督 エリック・カール原作 / アミューズビデオ / K778 ㌦）

画像なし

世界中で大人気のはり絵絵本作家、エリック・カール作品の初のアニメーション化。

おなじみの「はらぺこあおむし」の他「だんまりこおろぎ」「パパ、お月さまとって！」「ごちゃまぜカメレオン」「うたがみえる、きこえるよ」の代表作全5話を収録（2ヶ国

語版）。グラフィックデザイナー時代に培った surprise & simple を発想の原点に、色鮮やかな多くの虫や動物、食べ物などが美しいコラージュ（切り絵）で立体的に表現されています。さだまさしのナレーションともマッチし、映像ならではのユニークでファンタジックな世界をぜひお楽しみください。

録音 CD

『心にしみいる名俳句200選』

（原康義〔ほか〕朗読 / キングレコード / 640㌦）

画像なし

かたや、朗読ブーム。そして日本語ブーム。「<朗読>心の本棚 美しい日本語シリーズ」として出ています。

目と耳で名俳句を味わえます。

新着AV紹介

～とどのつまりの「とど」って？～

実は哺乳類のトドではなく、出世魚の鰻（ボラ）のこと。この魚は成長するにしたがって、ハク（3～4cmの稚魚） オボコ・スパシリ（小形） イナ（20～30cm） ボラ（80cmの成長した魚）と名称が変わり、

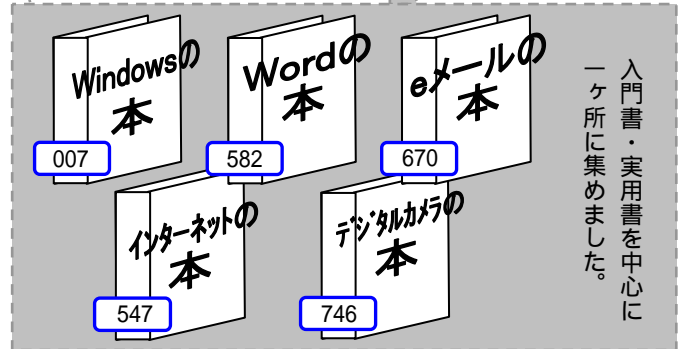
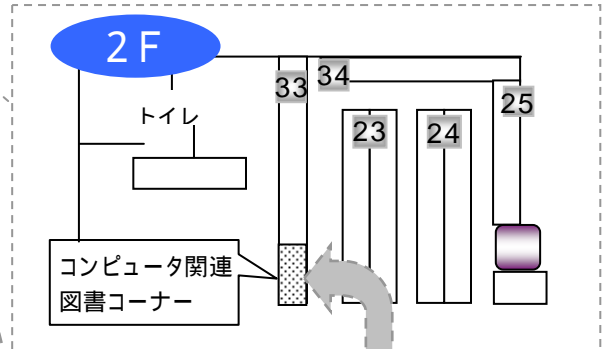
最後にさらに大きくなったものが「トド」と呼ばれる。名称がトドで終わるところから、トドノツマリ（詰り）「つまるところ・結局」の意味になった。

1月15日からコンピュータ・インターネット関連の図書を集めた「コンピュータ関連図書コーナー」が誕生しました。場所は2階奥の33の棚です。

これまで「コンピュータの本が置いてある棚がバラバラで、わかりにくい」という声が寄せられていました。なぜこれらの本が違う棚に置かれていたのかというと、二宮町図書館では「日本十進分類法(NDC)」という分類方法に基づいて本を並べているからです。この方法では、コンピュータ・システムに関するものは「情報科学」に、インターネットに関するものは「通信工学」というように別々に分類されています。

そこで、**入門書・実用書**を中心に、これまで異なった棚にあった本を1カ所に集め、二宮町図書館独自に「総合・ハードウェア」「ソフトウェア」「インターネット」「プログラミング」という4つに分けることにしました。さらにその中を同じテーマやソフトごとに並べました。(資格に関する本や読み物は従来の書架にあります。)

以前より探しやすくなったでしょうか?皆様のご利用お待ちしております。



二宮ゆかりの人物

～ 大佛次郎 ～

前号で園芸試験場について特集したので、関連した作品を一つ紹介します。

「新聞の経済欄で私は相模半次郎と言う名を知った。相模半次郎は、維新幕末の志士でも篤農家でもなく、胡瓜の名前であった。神奈川県二宮の農事試験場の前身で育成した新しい品種で、戦前も大正末期の改良らしい。」

(大佛次郎著「相模半次郎伝」より)

横浜市生まれの作家・大佛次郎(1897～1973年)は「ちいさい隅」の総題で週一回の随筆を神奈川新聞に昭和33年9月から昭和47年10月まで連載をしていました。この「相模半次郎伝」は、昭和38年12月10日付けの新聞に書かれたものです。園芸試験場発行の「季節のしおりNo.187」によると、相模半次郎は半白系きゅうり相模半白という品種で昭和30年代まで初夏採りキュウリの代表として一世を風靡、平塚大磯地区を中心に栽培されていましたが、昭和40年代に入るとより品質のすぐれた品種にとってかわられ実用栽培はなくなりました。現在、原種維持のため採種だけ続けられているようです。



随筆を連載していた神奈川新聞

大佛次郎は、『ドレフュス事件』・『鞍馬天狗』・『赤穂浪士』をはじめとして数々の時代小説を残しています。新聞小説の連載は、大正15年「照る日くもる日」から昭和42年「天皇の世紀」まで、全部で61作品にもなります。愛猫家としても知られ、童話も数篇残しており、その中でも『スイッチおねこ』は最も愛した童話のようです。また、国内外を問わず旅行をし、それを題材に随筆を書いています。「星の文学者」として知られる兄の野尻抱影(1885～1977年)と梅の花を見に出かけた時のことを書いた「小田原」には、自動車で二宮を通ったことも綴られています。

横浜・港の見える丘公園には大佛次郎記念館もあるので、出かけてみてはいかがでしょうか。

参考資料

- 「スイッチおねこ」(フレーベル館/1979/E ¥入)
- 「大佛次郎エッセイセレクション第2巻」(小学館/1996/914オサ)
- 「新潮日本文学アルバム第63巻」(新潮社/1995/910.2シ)
- 「作家の自伝91」(日本図書センター/1999/910.2サ)
- 「大佛次郎随筆全集 1巻～3巻」(朝日新聞社/1973)
- 「ちいさい隅」(六興出版/1985)

大佛次郎の多彩な業績を記念して「大佛次郎賞」(1974年)「大佛次郎論壇賞」(2001年)が創設されました。

- 【児童】
- 第1位 13歳のハローワーク
 - 第2位 ダレン・シャン 9 夜明けの覇者
 - 第3位 ハリー・ポッターと炎のゴブレット 下
" ミッケ! 6 ゴーストハウス
 - 第4位 ハリー・ポッターと炎のゴブレット 上
" ダレン・シャン 6 パンパイアの運命
" ダレン・シャン 7 黄昏のハンター
" デルトラクエスト 3 影の王国

- 【一般】
- 第1位 半落ち/横山秀夫
" 蹴りたい背中/綿矢りさ
 - 第2位 バカの壁/養老孟司
 - 第3位 蛇にピアス/金原ひとみ
 - 第4位 号泣する準備はできていた/江国香織
" 誰か/宮部みゆき
 - 第5位 世界の中心で、愛をさけぶ/片山恭一
" 看守眼/横山秀夫

ベストオーダー
2004年1月～2月

この期間に予約が多かった本です

お知らせ・お願い

利用者の声Q & A

住所や氏名、電話番号の変更、あるいは地番変更がありましたら、お知らせください。(利用カードをお持ちの方へ)

新規に登録された時と同様に住所・氏名が確認できるものが必要です。変更後の保険証・免許証・自分宛の郵便物等をご持参ください。

なお、町内在住・在学・在勤およびカード登録の広域利用地域(大磯・平塚・秦野・伊勢原・中井・小田原)外に転出の際も、ご連絡をお願いします。(くわしくはお電話やカウンターでお問い合わせください)

Q:「子どもが、本を破いてしまったのですが・・・?」

A: 状態を見させていただきますので、ご家庭で直さずにそのまま図書館へお持ちください。

修理可能なものは、図書館専用の修正テープで修理いたします。もし、修理不可能な場合は、弁償手続きとなりますので、「事故資料届」にご記入いただきます。図書館までご来館ください。

「子どもが、本に落書きをしてしまった」、「本を無くしてしまった」等の場合も同様に、図書館にご来館の上、上記手続きとなります。



図書館内での忘れ物や落とし物をお預かりしています。

お心当たりの方は、1階カウンターか2階のレファレンスカウンターでお尋ねください。

図書館だよりのバックナンバーのコーナーができました。

これまでに発行した図書館だよりが欲しい、というご要望にお応えして設置しました。

入口入って左横にあります。いつでもご自由にお持ちください!

図書館だより前号(第7号1/15発行)の訂正とおわび

図書館だより第7号の3ページ「シリーズ図書館発見」で掲載した写真の「二宮寿考園での巡回の様子」は、「メゾン二宮での巡回の様子」の誤りです。訂正してお詫び申し上げます。

行事 くわしくはお問い合わせください

<p>ちいちゃいおはなし会</p> <p>3月 10日(水)</p> <p>4月 14日(水)</p> <p>5月 19日(水)</p>	<p>おまけのおはなし会</p> <p>おはなし会とおりがみあそび</p> <p>3月 13日(土)</p> <p>4月 17日(土)</p> <p>5月 15日(土)</p>	<p>わらべうたであそぼう!</p> <p>3月 19日(金)</p> <p>4月 16日(金)</p> <p>5月 21日(金)</p>	<p>雑誌のリサイクルコーナー</p> <p>3月 28日(日)</p> <p>4月 25日(日)</p> <p>5月 23日(日)</p>
---	--	--	---

展示テーマ

2月

- 一般 / 『雪』
- 一般特設 / 『芥川・直木賞受賞作品』
『新選組』
- 児童 / 『おにさんこちら』
- 児童特設 / 『とくだゆきひさ得田之久さんの虫の本』
- A V / 『和』

3月

- 一般 / 『創る人たち』
- 児童 / 『おぼえてる? - パパ、ママが小さいころの絵本』

ひとつだけ ~編集後記にかえて

村上春樹の著書にこんな記述がある。「すべての新しい便利さは、例外なく新しい種類の不便さを産み出すんだ」ビデオの録画予約に失敗したとき、急用で友人の携帯に電話をしたが連絡がとれないとき…。ああ、もしビデオに録画予約機能がなければ、携帯電話がなければ、こんなことで無駄にイライラすることはなかったのに… 以前は今ほど便利なものがなくてもなんとかやってこれたのに、なければならぬで済むものに、気がつけばいつの間にかすべてを委ねてしまっている。でも一度でも「便利」というものの味を占めたら、抜け出すことは容易ではない。(青)